

除雪安全祈願祭・除雪車輛出動式

国道46号を冬期間万全の体制に



角館国道維持出張所で行われた除雪安全祈願祭。



旗を振って出動を見送る角館保育園の園児たち。

11月1日、国道46号の除雪安全祈願祭と除雪車輛出動式が国土交通省の角館国道維持出張所で行われ、関係者約60人が作業中の無事故と雪道の安全確保を誓いました。

また、角館保育園の園児たち44人が除雪車両出動式の応援に駆け付け、安全運転などをお願いする大きな力をオペレーターに手渡しました。

除雪作業の業務委託を受ける万六建設機は、大仙市協和から仙岩トンネルまでの55キロを除雪します。24時間対応で住民の生活を守り、冬期交通の安全確保にあたります。



除雪車両にお絵かきもしました。

第54回 秋田県老人クラブ大会



10月13日、第54回秋田県老人クラブ大会が秋田県民会館で開催されました。式典では地域の活動にあたり功績のあった団体や個人が表彰されました。仙北市老人クラブ連合会の中から、次の方々が表彰されました。(敬称略)

秋田県知事表彰

【育成功労者表彰】
田沢湖地区老連会長兼神代中央長寿会会長 藤原貫一

【優良老人クラブ表彰】

西木町地区老連 寿楽老人クラブ
会長 小西五郎

秋田県老連会長表彰

【育成功労者表彰】
角館町地区老連女性部長 佐々木榮子

【優良老人クラブ表彰】

角館町地区老連 楽悠クラブ会長 金田晃

秋田県老連会員増強運動特別賞

角館町地区老連 さくらクラブ会長 星宮忠清
田沢湖地区老連 高野若駒クラブ会長 藤原助一
田沢湖地区老連 神代中央長寿会会長代理 庶務 藤原幸子



表彰された仙北市老人クラブ連合会の皆さんが角館庁舎を訪れました。

第139回秋田県種苗交換会で 若松金男さんが秋田県知事賞



ホウレンソウの部で秋田県知事賞に輝いた若松金男さん(右)。左は門脇市長。

10月29日から11月4日まで、湯沢市を会場に第139回秋田県種苗交換会が開催され農作物等総出品数1824点の中、仙北市から若松金男さんのホウレンソウが秋田県知事賞に輝きました。

- 受賞者一覧(敬称略)
- 秋田県知事賞(農林中央金庫秋田支店長賞) ▼ホウレンソウ(サンホープセブン)：若松金男 2等賞 ▼葉たばこ(第1パーレー種たいへい)：木村明夫 ▼コマツナ(里きりり)：伊藤美弘
- ▼ハクサイ(無双)：青柳良成 ▼ホウレンソウ(サンホープセブン)：島山良夫 3等賞 ▼葉たばこ(第1パーレー種たいへい)：門脇政広 ▼ゴボウ(柳川理想)：千田ミワ ▼ヤマネイモ(神代2号)：藤川栄 ▼ダリア(純愛の君)：高橋勉 ▼乾牧草(混播牧草)：田口春美

家族介護教室&介護者交流会



介護者の気分転換を図る

10月27日に「家族介護教室」と「家族介護者交流会」があきた芸術村温泉ゆぼぼで開催され、約30人が参加しました。これは要介護1から5の方を自宅で介護している家族を対象とするもので、今回は「口腔の手入れ方法」「足マッサージ」を学び、「昔っこと語り」を聞いて楽しみました。この交流会は年明けにも開催予定で、詳細が決まり次第募集します。お問い合わせは、仙



心身ともにリフレッシュ。自宅で介護をしている皆さまのお申し込みをお待ちしています。

北市包括支援センター(☎43) 2283)、仙北市社会福祉協議会(☎52)1624)まで。

オオヤマザクラの苗木を植樹



住民たちが森林再生願う

11月3日、旧角館スキー場跡地で平成28年度緑の募金公募事業として、サクラの苗木の植樹が行われました。この事業は(株)花葉館・植栽グループが主催し、ふるさとのシンボリックな森林の再生を目的に、(公社)国土緑化推進機構の支援や地域の方々の参加協力を受けて行われたものです。当日はあいにくの雨模様となりましたが、地元住民や市老人クラブ連合会の会員など約



雨にもかかわらず、参加者は協力して穴を掘りサクラの苗木を植えていました。

70人が参加しました。参加者は説明を聞いた後、用意されたオオヤマザクラ30本の苗木を丁寧に心を込めて植樹しました。

角館駅前広場に新生の車輪



往年の輝き取り戻す

角館駅前広場に設置されている旧生保内線蒸気機関車の車輪が新たに生まれ変わりました。この車輪は、大正10年から旧生保内線(現在の田沢湖線)を走っていた蒸気機関車に使用されていたものです。昭和51年に寄贈されて劣化が進んでいましたが、このたびは(株)川村自動車工業の川村和男社長のご尽力により修復と周辺整備が行われ甦りました。10月29日、田沢湖線全線



門脇市長(右)から感謝状を受け取る(株)川村自動車工業の川村和男社長(左)。

開通50周年を記念して行われた角館駅まつりの会場で、川村社長のご厚意に対し、門脇市長から感謝状が贈られました。

秋の火災予防運動駆け付け訓練

火の取り扱いには注意を
11月6日から12日まで秋の火災予防運動が実施されました。初日は、仙北市管内3か所で駆け付け訓練が行われました。この訓練は、火災発生時に消防団員が迅速に現場へ駆け付けられることができるよう毎年行っているものです。これから気温が低くなるにつれて、空気が乾燥してきます。火災が発生しやすい時期となりますので、火の取り扱いには十分気をつけましょう。



市内3か所で駆け付け訓練が行われました。写真は仙北市役所田沢湖庁舎前で行われた訓練。

仙北市女性の活躍推進交流会

男女ともに働きやすい環境を
11月7日、あきた芸術村で仙北市女性の活躍推進交流会が開催され、約150人が参加しました。市内で実施したアンケート調査の結果報告を兼ねた交流会では、パネルディスカッションを通じて県内企業の取り組みや市内で働く女性の経験談などの事例発表や意見交換が行われました。参加者は交流を深め合いながら、今後の事業につながるヒントを見つけました。



会場内では、女性起業家や働く女性支援などのパネル展示が行われ、多くの参加者の関心を集めました。

角館小学校で特別活動公開研究会

よりよい学級生活を
11月11日、文部科学省の研究指定を受けている角館小学校で公開研究会が開催されました。これは文部科学省の教育課程研究指定校の特別活動で、市内外の小学校の教員など約150人が参加。公開授業では学級ごとのテーマで児童が意見を発表しました。また、授業分科会や講演会では、参加者は思考力や判断力などを育てる指導や話し合いの工夫などを学びました。



公開授業でちょっぴり緊張気味の児童たち。積極的に自分の意見を述べました。

風を感じる EOS Live in Senboku

独自の世界観繰り広げる
11月12日、仙北市民会館で能代市を拠点に活動しているフォルクロレバンド「EOS（イオス）」のロビーコンサートが行われ、およそ80人の観客が訪れました。南米の民族音楽で「風の楽器」と呼ばれるサンポーニャを演奏に取り入れ、身近な風景を表現し続けているEOS。様々な楽器を使い分け、素敵な音色を響かせながら、長時間にわたる演奏で観客を魅了しました。



EOSのライブでは、様々な楽器が登場。曲目ごとにそれぞれ違った「風景」や「物語」を感じさせました。

仙北市史跡めぐり第3弾 白岩城を歩く・学ぶ

11月15日、仙北市史跡めぐりが行われ、市民ら約30人が参加しました。

これまで門屋城・古堀田城、角館城と開催され、3回目となった今回巡るのは、北浦の有力豪族白岩氏の居城。参加者は白岩城址のある館山を登りながら、講師の大野憲司氏（元秋田県教育庁文化財保護室長）の説明に真剣に耳を傾けていました。

中世の城である白岩城には「土塁（城壁のように敵が侵入しにく



館山に登頂後、眺望を楽しむ参加者。

いように土を土手状に盛った防御施設」や「薬研堀（断面がV字形になっている堀）」などの痕跡が随所に見られ、参加者は興味津々。大野氏は「中世の城は、守るべき所があって、その周辺にそれを守る施設がある。山歩きをしなからそのような場所を見つけたら注目してほしい」と話しました。



参加者は講師の説明を真剣に聞いていました。

仙北市多職種研修会で意見交換

医療と介護で支え合う
11月5日、西木温泉クリオンで仙北市多職種研修会が行われました。これは今後予測される高齢化社会を医療・介護の両面から支えていくために、異なる職種間の理解を深め、課題解決を図ろうと行われたものです。研修会では、東京大学医学部在宅医療学拠点特任研究員の松本佳子氏による在宅医療・介護連携の推進についての講演やグループワークが行われました。



研修会には82人が参加。グループワークなどを通じて、参加者はお互いの理解を深めました。

仙北市体育協会が創立10周年

地域発展に向け充実を図る
10月23日、仙北市体育協会（菅原陽三会長）の創立10周年記念式典が角館町のグランデールガーデンで開催され、約100人が出席しました。菅原会長が「これまで以上に会員が結束し、組織の強化・発展に努めたい」とあいさつしました。また、10周年記念特別功労として、角館町体育協会の中村六郎前会長と西木村体育協会前会長の故大牧徳二郎氏が表彰されました。



参議院議員であり元プロ野球選手の石井浩郎氏による特別講演も行われました。